

## 令和5年度 事業報告

令和5年度の国内情勢としては、新型コロナウイルス感染症も2類から5類に移行し、日本経済もパンデミック以前のレベルに回復しました。

また、海外に目を転じてみるとロシアのウクライナ侵攻や中東の内紛などにより世界情勢が不安定化しており、さらには、金利格差による過度な円安による原油価格をはじめとしたあらゆる製品が値上がりするなど、国民生活に大きな影響を与えています。

畜産情勢としては飼料価格の高止まり、牛枝肉相場、子牛価格の低迷により、大変厳しい状況にあります。このような中、肉用子牛では肉用子牛生産者補給金と和子牛生産者臨時経営支援交付金、牛の肥育では肉用牛肥育経営安定交付金、飼料では、配合飼料価格安定制度補填金が発動されるなど、国も対策を講じていますが、その効果は限定的であり、特に、酪農では餌価格の上昇に対して乳価が追いついていないことから、他の品目に比べて厳しい経営環境にあり、全国的にみると酪農を廃業するケースが増加しています。

国内の特定家畜伝染病の発生については、CSF（豚熱）が、昨年8月に九州で初めて佐賀県の養豚農家で2例確認されましたが、幸いにも、続発およびイノシシでの陽性事例も確認されておりません。高病原性鳥インフルエンザについては、昨年11月下旬から12月上旬と1月にかけて6例が確認され、昨冬のように爆発的発生を危惧しておりましたが、以後は散発的な発生にとどまっております。

このような厳しい情勢の中で、当協会は県、市町、JA等の関係機関の協力を受け、国、県、農畜産業振興機構、中央畜産会等の事業に積極的に取り組み、畜産経営の安定と畜産振興に積極的に取り組んでまいりました。

経営安定対策として生産者の経営の安定を図るため、畜産コンサルタント委託事業等や肉用牛経営安定対策補完事業や生産基盤拡大加速化事業、畜産クラスター機械導入事業を実施するなど、基盤の強化に取り組みました。

担い手対策として、ネットワーク組織〔大分畜産Net“鼓動”〕が主体となって、バーンミーティングやスキルアップ研修会を実施し地域での中核的な担い手となるよう、その活動を支援しました。

畜産物価格安定対策として、各種給付金は牛マルキンでは毎月対応、子牛補給金等については四半期ごとの対応となりますが、発動時に速やかに生産者が受け取れるように緊張感をもって生産者の経営安定に向けて支援しました。

家畜衛生対策としては、県と防疫演習を通じて特定家畜伝染病発生時の態勢の強化に取り組みました。併せて、ワクチンによる発生予防を推進しました。併せて、産業動物獣医師や県獣医師確保が厳しい中、国庫の給付事業、県単の給付事業活用し確保に務めました。また、新たに県単事業の地域枠事業による獣医師確保にも取り組みました。

最後に、畜産振興・消費拡大対策と食育活動の推進として、大分県農林水産祭の一環行事として、大分県畜産共進会の3部門の開催を支援し、家畜改良増殖の推進による生産基盤の強化並びに生産意欲の向上、さらには食育活動を通じて、県民に対して畜産への理解の醸成を図りました。

# I 本協会の運営状況

## 1. 役員会の開催

区分	開催月日	主要議決事項	出席人員	備考
監事会	令和5年5月23日	令和4年度事業及び収支決算の監査	監事3名	
理事会	令和5年6月2日	(1)特定費用準備資金の積立について(案) (2)令和4年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について(監査報告) (3)役員改選(案)について (4)肉用牛肥育経営安定交付金制度業務方法書の一部改正(案)について (5)諸規定の一部改正(案)について (6)令和5年度第1回通常総会の開催並びに提出議案の承認について (7)その他	理事11名 監事3名	
理事会	令和5年6月19日	(1)会長の選定について (2)専務理事の選定について (3)その他	理事11名 監事2名	
監事会	令和5年12月25日	令和5年度上半期監査	監事3名	
理事会	令和6年2月15日	(1)諸規定の一部改正について (2)令和5年度補正予算(案)の承認について (3)令和6年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について (4)令和6年度役員報酬の承認について (5)令和6年度予防接種事業標準対価について (6)令和6年度事業計画及び収支予算(案)の承認について (7)資産等の預入先及び運用取引先の承認について (8)借入金最高限度額及び借入金金融機関等の承認について (9)定款の一部改正について (10)会計処理規程の一部改正について (11)令和5年度第2回通常総会の開催並びに提出議案の承認について	理事10名 監事3名	

## 2. 通常総会の開催

### 第1回

開催月日・開催場所	令和5年6月2日・全農大分県本部301会議室	
総会日現在会員数(A)	46会員	
出席会員数	実出席会員数(B)	17会員(出席率B/A 36.9%)
	書面による出席会員数	28会員
	計(C)	45会員(出席率C/A 97.8%)

#### 主要議案及び議決事項

- (1) 令和4年度事業報告、貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録の承認について  
(監査報告)
- (2) 役員の変更(案)について
- (3) その他

### 第2回

開催月日・開催場所	令和6年3月25日・全農大分県本部301会議室	
総会日現在会員数(A)	46会員	
出席会員数	実出席会員数(B)	18会員(出席率B/A 39.1%)
	書面による出席会員数	28会員
	計(C)	46会員(出席率C/A 100%)

#### 主要議案及び議決事項

- (1) 令和5年度補正予算(案)の承認について
- (2) 令和6年度会員会費負担額及び徴収期日の承認について
- (3) 令和6年度役員報酬の承認について
- (4) 令和6年度事業計画及び収支予算(案)の承認について
- (5) 資産等の預入先及び運用取引先の承認について
- (6) 借入金の最高限度額及び借入先金融機関等の承認について
- (7) 定款の一部改正(案)について

## 3. 会員の状況

異動 資格別	前年度末 現在	本年度		本年度末 現在	備考
		増	減		
正会員	46	0	0	46	
賛助会員	1	0	0	1	
計	47	0	0	47	

#### 4. 役員の状況

異 動 区 別	前年度末 現 在	本 年 度		本年度末 現 在	備 考
		辞 任	就 任		
常勤理事	1	0	0	1	
非常勤理事	12	1	1	12	
非常勤監事	3	0	0	3	
計	16	1	1	16	

#### 5. 従業員の状況

異 動 区 別	前年度末 現 在			本年度末 現 在			増 減		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
職 員	5	2	7	5	3	8	0	1	1
職員(出向)	2	0	2	2	0	2	0	0	0
嘱託(常勤)	3	1	4	3	0	3	0	▲1	▲1
パート職員	0	4	4	0	5	5	0	1	1
計	10	7	17	10	8	18	0	1	1

#### 6. 令和5年度主要行事等

月 日	内 容	場 所
4月14日	第1回中央打合会 (WEB開催)	大分市
4月26日	令和5年度役員体制等検討委員会	大分市
5月23日	令和4年度決算監査	大分市
6月2日	第1回理事会	大分市
6月5日～8日	中央畜産技術研修会 (新任畜産技術職員)	福島県
6月19日	第1回通常総会	大分市
6月19日	第2回理事会	大分市
7月3日～4日	九州・沖縄ブロック畜産協会等が連携した人づくりに 係る情報交換会	佐賀県
7月5日～7日	新任基礎研修(経営指導担当者)(総務・経理担当者)	東京都
7月7日	大分県共進会全体会議	大分市
7月13～14日	管理責任者研修	東京都
8月1日～2日	海外事情研修事前研修	東京都
8月24日～25日	女性職員研修	大分市
8月25日	中堅職員研修	東京都
9月 1日	令和5年度肉用牛経営安定対策補完事業 実務研修	東京都
9月6日～7日	九州・沖縄ブロック畜産協会等経理担当者会議	大分市
9月7日～8日	令和5年度畜産特別資金等推進指導事業西日本 ブロック会議	福岡県
9月 8日	管理責任者研修	東京都

月 日	内 容	場 所
8月25日	第5回大分県農業総合戦略会議	大分市
10月7日	大分県畜産共進会（肉牛の部）	犬飼町
10月21日	大分県畜産共進会（肉用牛の部）	別府市
10月21日～22日	農業祭(畜産フェスタ)	別府市
10月26日	大分県畜産共進会（乳用牛の部）	大分市
10月27日	九州・沖縄ブロック専務・事務局長会議	長崎県
11月15日～16日	畜産コンサルタント九州・沖縄ブロック会議	大分市
11月29日	全国優良畜産経営管理技術発表会	東京都
12月 4日	財政的援助団体等監査	大分市
12月14日	会計検査	大分市
12月25日	上期監査	大分市
1月 27日	佐賀競馬見学会	佐賀県
2月1日～3日	中央打ち合わせ会議	東京都
2月15日	第3回理事会	大分市
3月16日	佐賀競馬ミルクウィーク	佐賀県
3月22日	第6回大分県農業戦略会議	大分市
3月25日	第2回通常総会	大分市

7. 会員の状況

寄託金及び会費一覧表

(令和6年3月31日現在)

(単位：口、千円)

会 員 名	価 格 安 定				家 畜 衛 生		経 営 支 援	合 計
	子 牛		肉 豚		口 数 金 額		会 員 会 費	
	口 数	金 額	口 数	金 額	口 数	金 額		
<b>【正会員】</b>								
1 大 分 県	10,000	100,000	0	0	2,500	25,000	0	125,000
2 大分県農業協同組合中央会	1	10	0	0	0	0	111	121
3 大分県信用農業協同組合連合会	766	7,660	200	2,000	0	0	346	10,006
4 全国農業協同組合連合会 大分県本部	2,626	26,260	751	7,510	520	5,200	1,455	40,425
5 全国共済農業協同組合連合会	383	3,830	150	1,500	0	0	60	5,390
6 大分県酪農業協同組合	500	5,000	0	0	300	3,000	778	8,778
7 大分県農業信用基金協会	0	0	0	0	0	0	110	110
8 株式会社 大分県畜産公社	0	0	10	100	0	0	130	230
9 (一社) 大分県配合飼料価格安定基金協会	10	100	51	510	0	0	60	670
10 (公社) 大分県獣医師会	0	0	0	0	60	600	60	660
11 大分県農業共済組合	0	0	0	0	10	100	200	300
12 姫 島 村	2	20	0	0	0	0	0	20
13 日 出 町	13	130	0	0	0	0	0	130
14 玖 珠 町	171	1,710	0	0	0	0	0	1,710
15 九 重 町	152	1,520	0	0	0	0	0	1,520
16 国 東 市	36	360	0	0	0	0	0	360
17 豊後高田市	11	110	0	0	0	0	0	110
18 杵 築 市	71	710	0	0	0	0	0	710
19 別 府 市	16	160	0	0	0	0	0	160
20 大 分 市	48	480	0	0	0	0	0	480
21 由 布 市	148	1,480	0	0	0	0	0	1,480
22 臼 杵 市	24	240	0	0	0	0	0	240
23 津 久 見 市	2	20	0	0	0	0	0	20
24 佐 伯 市	39	390	0	0	0	0	0	390
25 豊後大野市	303	3,030	0	0	0	0	0	3,030
26 竹 田 市	327	3,270	0	0	0	0	0	3,270
27 日 田 市	58	580	0	0	0	0	0	580
28 中 津 市	35	350	0	0	0	0	0	350
29 宇 佐 市	102	1,020	0	0	0	0	0	1,020
30 大 分 県 農 業 協 同 組 合	5,125	51,250	414	4,140	0	0	2,637	58,027
31 ベっぷ日出	79	790	2	20	0	0	106	916
32 下 郷	11	110	0	0	0	0	77	187
33 (公社) 全国和牛登録協会 大分県支部	0	0	0	0	0	0	60	60
34 大分県養豚協会	0	0	0	0	0	0	60	60
35 大分県養鶏協会	0	0	0	0	0	0	60	60
36 県中央豚鶏疾病対策協議会	0	0	0	0	317	3,170	0	3,170
37 県南地域豚病対策協議会	0	0	0	0	397	3,970	0	3,970
38 県西地区	0	0	0	0	105	1,050	0	1,050
39 県北	0	0	0	0	347	3,470	0	3,470
40 県南地域鶏病対策協議会	0	0	0	0	70	700	0	700
41 県西地区	0	0	0	0	106	1,060	0	1,060
42 県北	0	0	0	0	291	2,910	0	2,910
43 県中央牛疾病対策協議会	0	0	0	0	12	120	0	120
44 県南	0	0	0	0	55	550	0	550
45 県西	0	0	0	0	37	370	0	370
46 県北	0	0	0	0	10	100	0	100
<b>【賛助会員】</b>								
1 ジェイエイ北九州くみあい飼料株式会社	0	0	50	500	0	0	500	1,000
<b>総 合 計</b>	<b>21,059</b>	<b>210,590</b>	<b>1,628</b>	<b>16,280</b>	<b>5,137</b>	<b>51,370</b>	<b>6,810</b>	<b>285,050</b>

正 会 員 46  
 賛 助 会 員 1

## 8. 業務実施事項

### (1) 業務運営基金（令和6年3月31日現在）

（単位：千円）

摘 要	会員数	価格安定課		家畜衛生課	計
		子牛	肉豚		
寄託金					
正会員	46	210,590	15,780	51,370	277,740
賛助会員	1	0	500	0	500
計	47	210,590	16,280	51,370	278,240
補助金					
全国肉用牛振興基金協会	—	12,000	—	—	12,000
計	—	12,000	—	—	12,000
合計		222,590	16,280	51,370	290,240

## II 事業実施状況

### (経営支援課)

#### 1. 畜産生産能力・生産体制強化対策事業（家畜能力等向上強化推進事業）

〔1 家畜能力等向上強化推進 (2) 肉用牛 ②多様な種雄牛の活用促進対策 ア希少系統種雄牛産子肥育奨励金〕

地域固有の希少系統の再構築を目的に造成された県有種雄牛産子の県内における枝肉成績の判明率向上、並びに多様な牛肉生産に対するニーズに即した県有種雄牛の利用促進のため、県内協力肥育経営体（20 経営体）に対して、肥育開始された肥育素牛（149 頭）1 頭当たり 15,970 円の奨励金を交付した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
国庫補助金	2,380,000	2,379,530

(内訳)

(単位：頭、円)

肥育素牛の父牛	計 画		実 績	
	頭数	補助金額	頭数	補助金額
松吹雪	78	1,560,000	99	1,581,030
葵安花	14	280,000	17	271,490
高福花	14	280,000	14	223,580
平福富	13	260,000	19	303,430
合 計	119	2,380,000	149	2,379,530

#### 2. 肉用牛経営安定対策補完事業

肉用牛生産基盤の強化に向けて、肉用牛優良繁殖雌牛の導入による増頭支援や農家の高齢化等に対応するためのヘルパー活動の支援を行った。また、強化哺乳技術を活用した早期出荷支援のための新規事業にも取り組んだ。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
農畜産業振興機構 補助金	14,938,000	11,295,043

##### (1) 肉用牛生産基盤強化対策事業

###### 1) 中核的担い手育成増頭推進

肉用牛経営が優良な繁殖雌牛を計画的に増頭した場合に、増頭実績に応じた補助金として 33 頭に対して 3,180,000 円（1 頭当たり 80,000 円（6 頭）、育種価要件の高い牛には 100,000 円（27 頭））を交付した。

(単位：頭、円)

事 業 実 施 者	計 画		実 績		
	頭数	補助金額	頭数	補助金額	
大分県 農業協 同組合	西部営農経済センター(玖珠)	3	300,000	3	300,000
	南部営農経済センター	1	100,000	1	80,000
	豊肥営農経済センター	49	4,900,000	20	1,980,000
	北部営農経済センター	4	400,000	4	360,000
	小 計	57	5,700,000	28	2,720,000
べっぷ日出農業協同組合	5	460,000	5	460,000	
合 計	62	6,160,000	33	3,180,000	

2) 遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保

地域において多様な系統群による改良基盤の強化を推進するため、生産者集団等が雌牛を購入し、肉用牛経営に対し一定期間貸し付ける場合の補助金として7頭に対して540,000円（要件により60,000円が3頭、90,000円が4頭）を交付した。

（単位：頭、円）

事業実施者	計 画		実 績	
	頭数	補助金額	頭数	補助金額
大分県農業協同組合 豊肥営農経済センター	7	630,000	7	540,000
合 計	7	630,000	7	540,000

3) 優良繁殖雌牛導入支援

繁殖雌牛飼養頭数の維持・拡大を図るため、導入計画に基づき、生産者集団等が雌牛を購入し、肉用牛経営に対し一定期間貸し付ける場合の補助金として9頭に対して450,000円（育種価要件により50,000円が9頭）を交付した。

（単位：頭、円）

事業実施者	計 画		実 績		
	頭数	補助金額	頭数	補助金額	
大分県 農業協 同組合	西部営農経済センター（日田）	2	100,000	1	50,000
	西部営農経済センター（飯田）	1	50,000	0	0
	豊肥営農経済センター	7	350,000	7	350,000
	小 計	10	500,000	8	400,000
	べっぶ日出農協	1	50,000	1	50,000
	合 計	11	550,000	9	450,000

4) 肉用牛ヘルパー推進

農家の高齢化等に対応し、肉用牛生産の労働負担の軽減を図るため、利用組合が実施する肉用牛ヘルパー活動の組織化、ヘルパー要員確保、傷病時等の際のヘルパー利用に係る互助制度の推進等の活動を支援し、各肉用牛ヘルパー利用組合の利用者に対して利用料金の1/3（定休型）～1/2以内で補助金として交付した。

（単位：円）

事業実施者	計 画		実 績	
	事業費	補助金額	事業費	補助金額
庄内町肉用牛ヘルパー利用組合	1,057,630	441,955	937,810	400,325
湯布院町肉用牛ヘルパー利用組合	771,395	357,372	594,295	276,872
豊後大野市肉用牛ヘルパー推進協議会	4,772,250	1,912,770	4,217,766	1,732,195
豊後大野市肉用牛定休型ヘルパー組合	3,312,910	1,030,495	3,267,788	1,010,012
合 計	9,914,185	3,742,592	9,017,659	3,419,404

5) 肉用牛振興推進指導

中核的担い手育成増頭推進、遺伝的多様性に配慮した改良基盤確保、優良繁殖雌牛導入支援及び肉用牛ヘルパー推進の事業を円滑に実施するための関係機関との調整、実績確認、肉用牛ヘルパーの推進指導を実施した。

## (2) 強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業

肉用牛生産が中山間地域の基幹的な農業部門のひとつとして、地域経済の活性化に重要な役割を果たしていることを踏まえ、肥育牛の早期出荷を実現するための強化哺乳技術を活用した取り組みを支援することで、肉用牛の経営基盤の強化を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	3,353,000	2,896,801

### 1) 早期出荷支援対策

肉用牛繁殖経営が優良な子牛を出荷した場合に、要件を満たした代用乳購入量に応じた補助金として374頭に対して2,244,000円(1頭当たり6,000円)を交付した。

(単位：頭、円)

事業実施者		計 画		実 績	
		頭数	補助金額	交付頭数	補助金額
大分県 農業協 同組合	中部営農経済センター	30	180,000	14	84,000
	西部営農経済センター(日田)	78	468,000	62	372,000
	西部営農経済センター(玖珠)	36	216,000	43	258,000
	西部営農経済センター(飯田)	1	6,000	0	0
	豊肥営農経済センター	193	1,158,000	179	1,074,000
	北部営農経済センター	88	528,000	72	432,000
小 計		426	2,556,000	370	2,220,000
べっぶ日出農協		5	30,000	4	24,000
合 計		431	2,586,000	374	2,244,000

### 2) 肉用牛振興推進指導

強化哺乳技術を活用した早期出荷支援事業を円滑に実施するための関係機関との調整、対象代用乳の購入及び、出荷成績の実績確認等を実施した。

## 3. 畜産特別資金等推進指導事業

畜産特別資金等借入者の早期経営改善に向け、関係機関と一体となって総合的な支援、指導を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	3,001,750	2,768,458

実施事項	人数 戸数	内 容
都道府県支援推進協議会の開催	1回 (15名)	大分県大家畜・養豚特別支援協議会構成員を参集し前年度事業実施報告並びに本年度事業実施について協議した。
融資機関への指導・助言	4機関	畜特資金の制度、資金融通後の融資機関の役割と借受者に対する支援指導について助言指導を行った。
経営改善計画作成・見直し計画作成指導	1戸	酪農経営1戸の経営改善見直し計画作成に関する支援・指導を行った。
経営改善計画達成指導	9戸	肉用牛経営6戸、酪農経営3戸を対象に改善計画に対する達成状況、改善状況の把握並びに支援・指導を行った。また、酪農経営2戸を対象に濃密指導を行った。
その他借入者への指導事項	40名	融資機関、関係機関等を対象に、経営改善をはじめとする支援を行うため「指導体制の構築」について研修会を開催した。

#### 4. 家畜防疫・衛生指導対策事業

家畜伝染病等の発生時に備えた防疫演習、防疫対策の取組啓発等を行うとともに、地域防疫体制の整備・定着を図った。また、農場HACCP認証に向けた構築指導、認証後のフォローアップを行うとともに農場HACCP認証取組促進の周知活動を行い、農場HACCP認証制度の構築、強化・維持、普及を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	4,548,000	3,890,659

実施事項	回数	人数	内 容
1 地域自衛防疫推進事業 ①自衛防疫取組促進会議の開催	2回	18名	自衛防疫演習開催に関する検討並びに事業実施内容を検証した。
②自衛防疫演習の開催	3回	294名	生産者、県、市町村、関係機関を対象に実地演習を1回、飼養衛生管理基準改正に係る講習並びに実地演習を2回開催した。
2 地域農場 HACCP 認証支援事業 ①農場 HACCP 普及推進会議の開催 地域取組促進活動	1回	15名	生産者、県、関係機関を対象に普及推進会議並びに農場 HACCP の概要・グループ演習等研修会を開催した。
②構築指導事業	23回	4農場	農場 HACCP 認証取得並びに認証制度維持に向け取り組む農場の支援を行った。 構築指導 1農場、フォローアップ 3農場

#### 5. 畜産経営技術指導事業（地域畜産支援指導等体制強化）

地方競馬全国協会の補助により県内畜産経営の支援強化を行い、地域畜産の活性化や安全で安定的な畜産物の供給に向けて以下の事業を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
地方競馬全国協会 補助金	21,778,000	21,778,000

##### (1) 畜産経営の支援体制の強化を図る事業

畜産農家（肉用牛経営、酪農経営、養豚）を対象に、経営面・技術面からの分析を行い、その結果に基づく支援・助言指導を行った。また、畜産経営に対して優良雌牛の導入やヘルパー活動を支援するなど生産基盤の強化を図るとともに、後継者・担い手の確保並びに新規就農に向けて研修会等を開催し、地域の畜産振興に努めた。

また、中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会に県内の優良事例として、竹田市の肉用牛繁殖経営を推薦した。

これにより職員のスキルアップが図られ、畜産経営の支援体制の強化も図られた。

##### (2) 地域畜産の活性化、安全かつ安定的な食の提供に資するための事業

県産畜産物の消費拡大に向けて、生産者組織と連携してメディアの活用や県農林水産祭にて広報活動を行うとともに、小学校並びに児童養護施設へ畜産物の無償提供を行うなど地域畜産の活性化と畜産物の利用促進を図った。

また、家畜伝染病等の発生防止に向けて防疫演習や、規模拡大した養豚農場に野生イノシシ対策として防護柵を設置する等防疫対策に取り組み、農場でのバイオセキュリティの強化を図るとともに、農場HACCP認証への取り組みや普及活動に努めた。

さらに、本県の酪農・肉用牛近代化計画達成に向けて県畜産共進会の開催を支援し消費者に畜産に対する理解の醸成を図った。

### (3) 馬事普及啓発の推進体制の強化を図る事業

県馬事畜産振興協議会とともに地方競馬場での冠レース等への副賞提供や、九州各県の馬事畜産振興協議会と連携して佐賀競馬ミルクウィークでの乳製品の無料配布を実施した。

また、SNSを活用し地方競馬の広報と県産畜産物の消費拡大も広報するなど、地方競馬並びに畜産の振興を図った。

## 6.全国優良経営発表会調査費

畜産農家の優良経営を募集・収集し、中央畜産会が主催する全国優良畜産経営管理技術発表会に肉用牛繁殖経営の竹田市久住 植木俊輔・美和氏を推薦するとともに、発表会への取組を支援し、畜産局長賞を受賞した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 補助金	124,000	124,000

## 7.畜産コンサルタント委託事業

肉用牛経営及び酪農経営に対して、経営診断による経営改善指導を行い、畜産経営の安定を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	2,643,000	2,643,000

### (1) 畜産経営技術総合支援指導

経営管理や生産技術の分析を行い、改善項目について関係機関と連携をとり改善指導を実施した。

#### 1) 経営改善指導

経営改善の必要な肉用牛経営、酪農経営を対象に経営面・技術面からの経営診断を実施し助言指導を行った。

#### 2) 経営管理指導

肉用牛経営、酪農経営を対象に経営診断を行った。また、酪農経営を対象にした酪農検討会に参画し助言指導を行った。

#### 3) 生産技術指導

肉用牛経営に生産技術、経営計画の支援指導を行った。

### (2) 分析結果報告書の作成

経営診断分析結果を取りまとめて報告書を作成した。

《対象経営戸数》

(単位：戸)

	肉用牛	酪農	合計
経営改善指導	3	0	3
経営管理指導	15	1	16
生産技術指導	2	1	3
合計	20	2	22

## 8. 肉用牛担い手確保総合対策事業（畜産インターンシップ対策）

肉用牛経営の新規参入促進を図るため、農業高校・農業大学校・畜産研究部研修生(計 29 名)を対象とした先進農家 4 戸での現地研修を実施した。また、新規就農者 6 名を対象とした削蹄研修や、新規就農者 12 名を対象とした経営計画作成等の研修会も実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 委託費	1,495,760	1,008,080

## 9. 貸付事業指導等事業

畜産近代化リース協会の機械施設借受者 11 名（肉用牛経営 1 戸、酪農経営 10 戸）に対して、機械施設 14 台の保管状況の確認と管理状況の調査並びに適正な利用について指導を行った。

また、県内各農協等に本事業の説明をするとともに、新規利用推進を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産近代化リース協会 委託費	238,000	210,226

## 10. 地域畜産支援指導等体制強化事業

畜産に携わる男性・女性の畜産ネットワーク組織会員の個々のスキルアップ及び交流を図るための研修会を開催した。また、生産者・生産者組織等からの各種相談対応に応じるため、畜産コンサルタント団員の派遣及び研修会受講による職員のスキルアップを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	2,531,000	2,423,314

## 11. 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業

### (1) 全国推進事業

#### 1) 全国実態調査業務（畜産クラスター全国推進事業）

畜産クラスターに係る取り組みを全国で推進するために必要な経営情報を収集するため、県内の先進的な肉用牛経営 10 戸を対象に経営調査を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	800,000	800,000

2) 改善効果調査業務（畜産クラスター推進事業（改善効果））

畜産クラスター事業を活用し機械導入した肉用牛経営 1 戸を対象に導入前後の経営調査を行い、畜産クラスター事業活用の改善効果を検証した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	150,000	150,000

(2) 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（機械導入事業）

地域を支える畜産農家の支援のため、各畜産クラスター協議会が策定したクラスター計画に基づき収益性の向上を図るために機械導入事業を推進し、窓口団体として事業推進業務を実施した。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
中央畜産会 委託費	2,649,000	2,594,222

	第 1 回要望調査（配分数）			参加申請（令和 6 年 3 月 31 日）		
	協議会数	取組主体数	機械台数	協議会数	取組主体数	機械台数
令和 5 年度 （一般枠）	9	16 件	45 台	9	14 件	33 台
令和 5 年度 （飼料増産枠）	1	3 件	6 台	1	2 件	3 台
	第 2 回要望調査（配分数）			参加申請（令和 6 年 3 月 31 日）		
	協議会数	取組主体数	機械台数	協議会数	取組主体数	機械台数
令和 5 年度 （一般枠）	4	5 件	7 台	4	4 件	6 台
令和 5 年度 （飼料増産枠）	1	5 件	8 台	1	5 件	7 台

実施事項	回数	人 数	内 容
全国事業推進会議	2 回	2 人	7/6 令和 5 年度成果報告、第 2 回要望調査、参加申請手続き、財産処分について
		2 人	1/22 令和 5 年度機械導入事業留意事項並びに令和 6 年度機械導入事業について
事業説明会	2 回	42 人	5/17 令和 5 年度機械導入事業参加申請書留意事項
		34 人	2/6 令和 5 年度機械導入事業参加申請書留意事項並びに令和 6 年度要望スケジュールについて
機械導入状況調査に係る現地確認	2 日間	3 協議会 3 取組主体	導入された機械装置 5 台について、リース事業者による検収作業を補完するための現地確認作業 〔中津市畜産クラスター協議会・宇佐市肉用牛クラスター協議会・玖珠九重畜産クラスター協議会〕

(3)生産基盤拡大加速化事業（肉用牛）

輸出の拡大に向けて和牛の増産を推進するため、各畜産クラスター協議会の構成員が取り組む繁殖牛の増頭を支援した。(17.5万円/頭または24.6万円/頭)

※実績頭数 360頭 増頭奨励金 78,833千円

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
全国肉用牛振興基金協会 委託費	2,434,000	2,285,854

(4)機械導入前後状況プレ調査

畜産クラスターに係る取組推進に必要な情報を整備するため、肉用牛経営1戸を対象に機械導入前後状況調査を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	0	50,000

1.2.生産技術情報提供事業（生産技術指導情報の収集）

酪農経営1戸、肉用牛経営4戸（繁殖2戸、肥育2戸）を対象に家畜生産性に係るデータ収集と、生産性向上のためのデータ分析を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	445,000	445,000

1.3.酪農緊急パワーアップ事業（酪農労働省力化対策事業）

酪農における労働負担軽減・省力化及び飼養管理技術の高度化に資する機械装置の導入並びに当該機械装置と一体的な施設整備を支援するため、県酪農協並びに酪農家に対し事業の普及推進を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	644,000	559,340

1.4.畜産経営体生産性向上対策事業（ICT等機械装置等導入事業）

酪農・肉用牛経営の生産基盤強化に資するため、酪農・肉用牛経営におけるICT等の新技術を活用した省力化機器の導入を支援することにより、過重となっている労働時間の削減を加速化し、計画的な生産性向上の支援事業の普及推進を行った。また、酪農経営体の稲ワラ細断機の導入について支援した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	266,000	286,994

## 15. 畜産物輸出対応生産円滑化緊急対策事業

県内畜産生産者に対して、肉用牛の輸出に関する理解醸成や意識向上を図るために普及啓発資料を肉用牛肥育並びに繁殖生産者へ配布した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
日本畜産物輸出促進協会 委託費	489,000	434,784

## 16. 畜産共進会及び畜産フェスタ開催事業

新型コロナウイルス感染症の移動制限緩和に伴い、第84回大分県畜産共進会は肉牛の部(50頭)を10月7日に豊後大野市、肉用牛の部(52頭)を10月21日に別府市、乳用牛の部(37頭)を10月26日に大分市で開催した。

一方、10月21日・22日に別府市で開催された農林水産祭において畜産フェスタを開催し、一般消費者を対象に県産の豚肉や鶏卵、地鶏肉の展示販売を行い畜産に関する理解醸成、県産畜産物の消費拡大を推進するために、生産者・県及び関係機関と連携して取り組んだ。

## 17. 養豚協会、養鶏協会等の活動支援 (団体事務委託)

経営支援課内に協議会事務局担当者を置き各団体の事務局業務並びに各活動の支援を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
団体事務委託収入	793,000	853,054

## 18. 種豚登録業務

大分県養豚協会より業務委託を受け、日本養豚協会の規程に基づき種豚の改良増殖を推進するとともに、養豚経営の生産基盤強化を図るために登録業務を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
登記・登録料	155,000	128,150

主 な 種 別	計 画	実 績
黒豚生産農場認定	1 施設	1 施設
子豚登記	80 頭	47 頭
種豚登録	25 頭	6 頭

## 19. 情報活動事業

中央並びに県内における畜産に関する資料を収集し、関係者に対し情報提供を行うとともに、中央畜産会が発刊する畜産コンサルタント誌・経営情報など参考資料等の斡旋を積極的に行った。また、ホームページで畜産関係者、消費者に向け情報提供を行った。

(価格安定課)

1. 肉用子牛生産者補給金制度 (業務対象年間：令和2年度～令和6年度)

令和5年1月～令和5年12月において、黒毛和種、その他の肉専用種、乳用種の品種で子牛平均売買価格が保証基準価格を下回ったため、生産者補給金の発動があった。褐毛和種、交雑種の品種では生産者補給金の発動はなかった。

<制度の仕組み>

四半期毎に農林水産大臣が告示する肉用子牛の平均売買価格が保証基準価格を下回った場合、本制度契約生産者がその期間中に販売、又は自家保留した登録肉用子牛に対し生産者補給金を交付し、肉用子牛生産の安定等を図る。

(1) 保証基準価格・合理化目標価格 (令和5年度) (単位：円)

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
保証基準価格	556,000	507,000	325,000	164,000	274,000
合理化目標価格	439,000	400,000	256,000	110,000	216,000

(2) 平均売買価格 (単位：円)

	黒毛和種	褐毛和種	その他の肉専用種	乳用種	交雑種
令和4年度 第4四半期	613,600	523,500	252,300	148,100	308,200
令和5年度 第1四半期	586,800	534,000	—	170,200	304,200
令和5年度 第2四半期	521,600	553,000	—	196,900	299,600
令和5年度 第3四半期	522,500	574,500	—	182,900	326,600

\*その他の肉専用種は令和2年度より算定期間が1年(4月～3月)となった。

(3) 生産者補給金交付実績 (単位：人、頭、円)

交付対象期間	品種	対象者数	交付金単価	対象頭数	交付金額
令和4年度 第4四半期	乳用種	2	15,900	279	4,436,100
令和5年度 第2四半期	黒毛和種	637	34,400	2,803	96,423,200
令和5年度 第3四半期	黒毛和種	629	33,500	2,896	97,016,000
合計		1,268		5,978	197,875,300

## (4) 生産者補給金交付契約締結状況

(単位：戸)

契約区分	契約者数					備考
	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
個人	1,221	965	972	982	984	
農協	-	-	-	-		
農協連	-	-	-	-		
農事組合法人	3	3	4	4	4	
株式会社	13	21	23	24	27	
有限会社	13	14	17	20	20	
民法法人	-	-	-	-		
合計	1,250	1,003	1,016	1,030	1,035	

## (5) 事務委託契約締結状況

事務委託先	事務委託先数					備考
	1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	
J A 農協	5	5	3	3	3	
専門農協	2	2	2	2	2	県酪、熊本
農協連	1	1	1	1	1	全農大分県本部
その他	1	1	1	1	1	配合飼料基金
合計	9	9	7	7	7	

## (6) 契約肉用子牛個体登録頭数の内訳

(単位：頭)

品種	個体登録頭数					備考
	1月1日～ 3月31日	4月1日～ 6月30日	7月1日～ 9月30日	10月1日～ 12月31日	1月～12月 合計	
黒毛和種	3,102	2,807	2,882	2,963	11,754	
褐毛和種	5	0	6	3	14	
その他の肉専用種	0	0	0	0	0	
乳用種の品種	108	199	127	45	479	
肉専用種と乳用種 の交雑の品種	334	549	398	311	1,592	
合計	3,549	3,555	3,413	3,322	13,839	

## (7) 契約肉用子牛1頭当たりの負担金(生産者積立金の額)

(単位:円)

品種	生産者 積立金	負担区分		
		機構(1/2)	県(1/4)	生産者(1/4)
黒毛和種	1,600	800	400	400
褐毛和種	6,000	3,000	1,500	1,500
黒毛和種及び褐毛和種 以外の肉専用種の品種	18,800	9,400	4,700	4,700
乳用種の品種	6,800	3,400	1,700	1,700
肉専用種と乳用種の 交雑の品種	3,200	1,600	800	800

## (8) 生産者積立金造成内訳

(単位:頭、円)

品種	区分	契約 頭数	積立 単価	積立所要 額	負担区分		
					機構(1/2)	県(1/4)	生産者 (1/4)
黒毛和種	継続	10,209	1,600	16,334,400	8,167,200	4,083,600	4,083,600
	新規	1,545		2,472,000	1,236,000	618,000	618,000
	計	11,754		18,806,400	9,403,200	4,701,600	4,701,600
褐毛和種	継続	14	6,000	84,000	42,000	21,000	21,000
	新規	0		0	0	0	0
	計	14		84,000	42,000	21,000	21,000
その他肉専用種	継続	0	18,800	0	0	0	0
	新規	0		0	0	0	0
	計	0		0	0	0	0
乳用種の品種	継続	0	6,800	0	0	0	0
	新規	479		3,257,200	1,628,600	814,300	814,300
	計	479		3,257,200	1,628,600	814,300	814,300
肉専用種と乳 用種の交雑の 品種	継続	1,233	3,200	3,945,600	1,972,800	986,400	986,400
	新規	359		1,148,800	574,400	287,200	287,200
	計	1,592		5,094,400	2,547,200	1,273,600	1,273,600
合計	継続	11,456	-	20,364,000	10,182,000	5,091,000	5,091,000
	新規	2,383		6,878,000	3,439,000	1,719,500	1,719,500
	計	13,839		27,242,000	13,621,000	6,810,500	6,810,500

## (9) 生産者積立金及び生産者積立準備金造成状況 (令和6年3月31日現在)

(単位:円)

区分		保証基準価格の品種区分	黒毛和種	褐毛和種	その他肉専用種	乳用種	交雑種	計	
I 期 首 残 高 訳	(1) 生産者積立金		53,919,727	141,600	18,800	40,029,908	14,244,339	108,354,374	
	(2) 生産者積立準備金		184,076,503	0	0	0	0	184,076,503	
	内 訳	(3) 生産者の負担金充当分	50,714,385	-	-	-	-	50,714,385	
		(4) 県の生産者積立助成金充当分	133,362,118	-	-	-	-	133,362,118	
		(5) 機構の生産者積立助成金充当分	0	-	-	-	-	0	
II 生 産 者 積 立 金 積 立 実 績	(6) 生産者積立金純増加額 (9)+(12)+(15)+(18)		10,021,200	42,000	0	2,442,900	2,834,400	15,340,500	
	(7) 生産者積立準備金からの繰入額 (10)+(13)+(16)		8,785,200	42,000	0	814,300	2,260,000	11,901,500	
	(8) 計		18,806,400	84,000	0	3,257,200	5,094,400	27,242,000	
	内 訳	生 産 者	(9) 負担金	618,000	0	0	814,300	287,200	1,719,500
			(10) 生産者積立準備金(3)からの繰入	4,083,600	21,000	0	0	986,400	5,091,000
			(11) 小計	4,701,600	21,000	0	814,300	1,273,600	6,810,500
	内 訳	県	(12) 生産者積立助成金	0	0	0	0	0	0
			(13) 生産者積立助成金(4)からの繰入	4,701,600	21,000	0	814,300	1,273,600	6,810,500
			(14) 小計	4,701,600	21,000	0	814,300	1,273,600	6,810,500
	内 訳	機 構	(15) 生産者積立助成金	9,403,200	42,000	0	1,628,600	2,547,200	13,621,000
			(16) 生産者積立助成金(5)からの繰入	0	0	0	0	0	0
			(17) 小計	9,403,200	42,000	0	1,628,600	2,547,200	13,621,000
	内 訳	そ の 他	(18) 生産者積立金とすることを指定して寄付又は補助された財産	0	0	0	0	0	0
			(19) 特別の積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0	0
			(20) 償還円滑化積立金から生産者積立金への繰入金額	0	0	0	0	0	0
III の 資 金 か 繰 ら 入 の 状 況 等	(21) 生産者補給金に充てるための全国協会等からの借入金額		0	0	0	0	0	0	
	(22) 生産者積立金に係る受取利息		961	0	0	687	250	1,898	
	(23) 生産者補給金交付額 (21)を含む		0	0	0	0	0	0	
	(24) 生産者積立金から借入金返済額		0	0	0	0	0	0	
	(25) 生産者分生産者積立準備金に係る受取利息		233	0	0	0	0	233	
	(26) 県分生産者積立準備金に係る受取利息		2,678	0	0	0	0	2,678	
	(27) 機構分生産者積立準備金返還金		0	-	-	-	-	0	
	(28) 生産者分生産者積立準備金返還金		0	-	-	-	-	0	
	(29) 償還円滑化積立金から生産者積立準備金への繰入額		0	0	0	0	0	0	
	IV 期 末 残 高 訳	(30) 生産者積立金 (1)+(8)+(19)+(20)+(21)+(22)-(23)-(24)		72,727,088	225,600	18,800	43,287,795	19,338,989	135,598,272
(31) 生産者積立準備金 (32)+(33)+(34)		172,177,914	0	0	0	0	172,177,914		
内 訳		(32) 生産者の負担金充当分 ※計の欄 (3)-(10)+(25)-(28)	45,623,618	-	-	-	-	45,623,618	
		(33) 県の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (4)-(13)+(26)	126,554,296	-	-	-	-	126,554,296	
内 訳		(34) 機構の生産者積立助成金充当分 ※計の欄 (5)-(16)-(27)	0	-	-	-	-	0	

## 2. 肉用牛肥育経営安定交付金制度（業務対象年間：令和4年度～令和6年度）

本制度の令和5年度における肥育牛交付金交付実績は、12,654頭に対して726,687,161円であった。肉専用種は7,959頭に対して566,474,313円、交雑種については、3,237頭に対して111,806,738円、乳用種については、1,458頭に対して48,406,110円の交付を行った。

### (1) 交付基準

肉用牛肥育経営に及ぼす影響を緩和することを目的に、生産者と県からの拠出金（交付金の額の1/4に相当する額）と農畜産業振興機構からの交付金（交付金の額の3/4に相当する額）を併せて標準的販売価格と標準的生産費との差額の9割を交付する。

### (2) 1頭当たり生産者負担金

(単位：円)

区分	1頭当たりの生産者負担金			備考
		うち生産者	うち大分県	
肉専用種	13,000	12,250	750	
交雑種	17,000	16,170	830	
乳用種	14,000	13,470	530	

### (3) 積立頭数の内訳

(単位：頭)

区分	4月1日 ～4月30日	4月1日 ～6月30日	7月1日 ～9月30日	10月1日 ～12月31日	1月1日 ～3月31日	計
	早出し (3月販売・ 4月請求分)	通常請求 (早出し含む)	通常請求 (早出し含む)	通常請求 (早出し含む)	通常請求 (早出し含む)	
肉専用種	2	2,122	2,149	2,087	1,803	8,163
交雑種	4	916	1,108	1,016	838	3,882
乳用種	0	599	535	337	325	1,796
計	6	3,637	3,792	3,440	2,966	13,841

※早出し3月販売分は、前年度の生産者負担金単価で基金造成を行う。

※前年度の各種の生産者負担金単価は肉専用種：17,000円、交雑種：19,000円、乳用種：19,000円。

### (4) 肥育安定基金の造成状況

(単位：円)

区分				肉専用種	交雑種	乳用種	合計
期首残高 ①				145,482,981	82,607,859	34,509,723	262,600,563
増加	積立金	造成実績	大分県補助金 ②	4,897,800	2,577,648	761,504	8,236,952
			準備金 ③	1,224,450	644,412	190,376	2,059,238
		生産者 ④	100,004,750	62,792,740	24,192,120	186,989,610	
		計 ⑤=(②+③+④)	106,127,000	66,014,800	25,144,000	197,285,800	
	受取肥育牛交付金(機構3/4分) ⑥	424,855,602	83,855,003	36,304,562	545,015,167		
	受取利息 ⑦	1,341	1,089	437	2,867		
	小計 ⑧=(⑤+⑥+⑦)	530,983,943	149,870,892	61,448,999	742,303,834		
合計 ⑨=(①+⑧)				676,466,924	232,478,751	95,958,722	1,004,904,397
減少	肥育牛交付金	機構(3/4)分 ⑩	424,855,602	83,855,003	36,304,562	545,015,167	
		基金(1/4)分 ⑪	141,618,711	27,951,735	12,101,548	181,671,994	
		合計 ⑫=(⑩+⑪)	566,474,313	111,806,738	48,406,110	726,687,161	
	合計 ⑬=(⑫)	566,474,313	111,806,738	48,406,110	726,687,161		
期末残高 ⑭=(①+⑨-⑬)				109,992,611	120,672,013	47,552,612	278,217,236

## (5) 交付金単価算定結果

(単位：円)

区 分		令和5年					
		1月期	2月期	3月期	4月期	5月期	6月期
肉専用種	標準の販売価格(A)	1,204,074	1,189,540	1,185,894	1,426,113	1,210,493	1,193,255
	標準の生産費(B)	1,271,505	1,276,199	1,281,131	1,232,698	1,237,458	1,242,306
	差額(C) = (A) - (B)	△ 67,431	△ 86,659	△ 95,237	193,415	△ 26,965	△ 49,051
	交付金単価 = (C) × 0.9	60,687.9	77,993.1	85,713.3	-	24,268.5	44,145.9
交雑種	標準の販売価格(A)	719,540	679,463	708,071	722,305	717,987	698,303
	標準の生産費(B)	733,926	730,612	719,671	717,914	733,469	748,553
	差額(C) = (A) - (B)	△ 14,386	△ 51,149	△ 11,600	4,391	△ 15,482	△ 50,250
	交付金単価 = (C) × 0.9	12,947.4	46,034.1	10,440.0	-	13,933.8	45,225.0
乳用種	標準の販売価格(A)	477,731	471,011	470,129	481,492	486,055	489,038
	標準の生産費(B)	526,032	522,114	533,232	531,545	536,165	524,886
	差額(C) = (A) - (B)	△ 48,301	△ 51,103	△ 63,103	△ 50,053	△ 50,110	△ 35,848
	交付金単価 = (C) × 0.9	43,470.9	45,992.7	56,792.7	45,047.7	45,099.0	32,263.2

区 分		令和5年						令和6年
		7月期	8月期	9月期	10月期	11月期	12月期	1月期
肉専用種	標準の販売価格(A)	1,181,619	1,134,154	1,156,525	1,139,405	1,197,311	1,222,061	1,207,121
	標準の生産費(B)	1,271,938	1,276,420	1,280,495	1,276,919	1,280,196	1,283,249	1,232,688
	差額(C) = (A) - (B)	△ 90,319	△ 142,266	△ 123,970	△ 137,514	△ 82,885	△ 61,188	△ 25,567
	交付金単価 = (C) × 0.9	81,287.1	128,039.4	111,573.0	123,762.6	74,596.5	55,069.2	16,010.3
交雑種	標準の販売価格(A)	703,381	687,964	697,162	689,805	717,137	782,277	747,355
	標準の生産費(B)	754,160	750,901	756,124	746,692	735,149	729,127	737,757
	差額(C) = (A) - (B)	△ 50,779	△ 62,937	△ 58,962	△ 56,887	△ 18,012	53,150	9,598
	交付金単価 = (C) × 0.9	45,701.1	56,643.3	53,065.8	51,198.3	16,210.8	-	-
乳用種	標準の販売価格(A)	481,097	478,967	477,812	473,651	472,765	469,781	464,642
	標準の生産費(B)	522,544	515,131	467,993	467,169	457,114	477,262	482,545
	差額(C) = (A) - (B)	△ 41,447	△ 36,164	9,819	6,482	15,651	△ 7,481	△ 17,903
	交付金単価 = (C) × 0.9	37,302.3	32,547.6	-	-	-	6,732.9	9,112.7

※ 肉専用種についてはブロック算定とし、交雑種、乳用種については全国算定により算出している。

※ 交付金単価について、R5.1月分は精算払単価、R5.2月～R5.12月分は確定単価、R6.1月は概算払単価。

※ 生産者負担金納付猶予対象牛については、国庫分(3/4)となる。

(6) 肥育牛交付金交付実績総括表

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	交付金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
令和5年 1月期 (精算金額)	肉専用種	通常	—	556	4,901.2	2,725,063
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	303	4,645.6	1,407,618
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	105	4,592.5	482,211
		納付猶予	—	0		0
計			44	964	—	4,614,892
令和5年 2月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	546	77,993.1	42,584,223
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	298	46,034.1	13,718,156
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	192	45,992.7	8,830,596
		納付猶予	—	0		0
計			39	1,036	—	65,132,975
令和5年 3月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	592	85,713.3	50,742,256
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	332	10,440.0	3,466,080
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	141	56,792.7	8,007,769
		納付猶予	—	0		0
計			43	1,065	—	62,216,105
令和5年 4月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	174	45,047.7	7,838,298
		納付猶予	—	0		0
計			5	174	—	7,838,298
令和5年 5月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	576	24,268.5	13,978,650
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	314	13,933.8	4,375,207
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	152	45,099.0	6,855,048
		納付猶予	—	0		0
計			36	1,042	—	25,208,905
令和5年 6月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	642	44,145.9	28,341,653
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	323	45,225.0	14,607,675
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	131	32,263.2	4,226,477
		納付猶予	—	0		0
計			40	1,096	—	47,175,805
令和5年 7月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	821	81,287.1	66,736,695
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	346	45,701.1	15,812,576
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	165	37,302.3	6,154,877
		納付猶予	—	0		0
計			48	1,332	—	88,704,148

区分	品種区分		交付対象者数 (人)	交付対象頭数 (頭) ①	交付金額	
					②単価 (円/頭)	③交付額 (①×②) (円)
令和5年 8月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	567	128,039.4	72,598,323
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	306	56,643.3	17,332,843
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	113	32,547.6	3,677,877
		納付猶予	—	0		0
計			44	986	—	93,609,043
令和5年 9月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	598	111,573.0	66,720,654
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	338	53,065.8	17,936,236
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
計			42	936	—	84,656,890
令和5年 10月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	834	123,762.6	103,217,992
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	348	51,198.3	17,817,002
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
計			46	1,182	—	121,034,994
令和5年 11月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	941	29,908.8	70,195,297
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	329	16,210.8	5,333,345
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
計			47	1,270	—	75,528,642
令和5年 12月期 (確定金額)	肉専用種	通常	—	718	55,069.2	39,539,671
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	111	6,732.9	747,350
		納付猶予	—	0		0
計			38	829	—	40,287,021
令和6年 1月期 (概算金額)	肉専用種	通常	—	568	16,010.3	9,093,836
		納付猶予	—	0		0
	交雑種	通常	—	0	0.0	0
		納付猶予	—	0		0
	乳用種	通常	—	174	9,112.7	1,585,607
		納付猶予	—	0		0
計			32	742	—	10,679,443
合計	肉専用種	通常	—	7,959	—	566,474,313
		納付猶予	—	0	—	0
		小計	—	7,959	—	566,474,313
	交雑種	通常	—	3,237	—	111,806,738
		納付猶予	—	0	—	0
		小計	—	3,237	—	111,806,738
	乳用種	通常	—	1,458	—	48,406,110
		納付猶予	—	0	—	0
		小計	—	1,458	—	48,406,110
	計			504	12,654	—

※合計の交付対象者数は延べ人数である。

### 3. 大分県肉豚価格安定対策事業（業務対象年間：令和3年度～令和5年度）

独立行政法人農畜産業振興機構が実施する肉豚経営安定交付金制度に参加する県内の肉豚生産者が積み立てする生産者負担金の一部を補助する事業を実施した。

【県費補助金は、畜産協会より四半期毎に農畜産業振興機構に積立てを行った。】

#### (1) 生産者負担金単価

(単位：円)

区 分	生産者負担金単価	内 容	
		内 県補助金	内 生産者負担分
第1四半期～第4四半期	400	60	340

#### (2) 事業対象頭数

225,530頭

#### (3) 肉豚補てん準備金造成状況

(単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		115,843,500	前期繰越金
増加	受取利息	2,111	
	小 計	2,111	
減少	養豚基金負担金支出	6,765,900	
	小 計	6,765,900	
期 末 残 高		109,079,711	

#### (4) 肉豚補てん積立金造成状況

(単位：円)

区 分		金 額	備 考
期 首 残 高		0	
増加	県生産者積立金補助金収入	6,765,900	
	小 計	6,765,900	
減少	養豚基金負担金支出	6,765,900	
	小 計	6,765,900	
期 末 残 高		0	

#### 4. 肉用子牛生産者補給金制度運営体制整備強化事業

##### (1) 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業

生産者補給金交付契約を締結した生産者の肉用子牛の個体登録、販売・保留確認、並びに県内家畜市場取引情報を収集し、新統一電算システムにより機構へ報告した。

また、本制度の適正な実施を図るため事務委託先及び契約生産者に対して肉用子牛生産者補給金制度等に係る交付契約の内容、手続き等についての点検、調査、指導を行った。

##### (2) 指定協会運営体制支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施を図るため運営体制の強化を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	22,100,000	21,096,245
(内訳) 運営適正化事業	14,500,000	13,496,245
運営体制支援事業	7,600,000	7,600,000

#### 5. 肉用牛肥育経営安定交付金制度業務委託事業

肉用牛肥育経営安定交付金制度における積立金管理者として、農畜産業振興機構の委託を受け、事業の円滑な実施を図るため、事務委託先並びに契約生産者に対する調査・指導を行うとともに、円滑な交付金の交付を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 委託費	8,782,000	7,728,374

#### 6. 和子牛生産者臨時経営支援事業

和子牛生産者のセーフティネットを臨時的に措置し、肉用子牛生産基盤の安定を図るため、市場等で取引される和子牛のブロック別平均価格（四半期別）が発動基準を下回った場合、事業に参加している和子牛生産者に対し、販売頭数に応じて支援交付金（平均価格と発動基準価格との差額の4分の3）の交付を行った。

##### (1) 支援金交付状況

(単位：円・人・頭)

	品種	支援金単価	対象者数	対象頭数	交付金額
令和4年度第4四半期	褐毛和種	10,800	1	2	21,600
令和5年度第1四半期	黒毛和種	15,000	653	2,590	38,850,000
	褐毛和種	11,200	1	1	11,200
令和5年度第2四半期	黒毛和種	47,600	593	2,390	113,764,000
	褐毛和種	5,000	1	3	15,000
令和5年度第3四半期	黒毛和種	49,500	599	2,524	124,938,000
合計			1,848	7,510	277,599,800

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
農畜産業振興機構 補助金	279,154,800	278,809,872

## 7. 大分県和子牛生産基盤安定化臨時支援事業

肉用子牛生産者補給金制度の全国平均価格が保証基準価格を下回り、和子牛生産者臨時経営支援事業の九州・沖縄ブロック平均価格が全国平均価格を下回った場合販売頭数に応じて差額の1/4の支援金交付を行った。

### (1) 支援金交付状況

(単位：円・人・頭)

	品種	支援金単価	対象者数	対象頭数	交付金額
令和5年度第2四半期	黒毛和種	4,800	593	2,390	11,472,000
令和5年度第3四半期	黒毛和種	5,500	600	2,527	13,898,500
合計			1,193	4,917	25,370,500

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	25,653,000	25,572,064

## (家畜衛生課)

### 1. 家畜生産農場衛生対策事業

ヨーネ病等の防疫対策、牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策、牛ウイルス性下痢（BVD）清浄化対策及び吸血昆虫媒介疾病の発生・流行防止対策を推進し、また、農場自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

区 分	予算額（円）	決算額（円）
国庫補助金	5,937,000	5,376,583
事業収入（BVD病自己資金）	117,000	132,800

#### (1) ヨーネ病早期清浄化のための防疫対策

ヨーネ病自主検査

ヨーネ病細菌培養等検査（糞便の細菌培養）

家畜保健衛生所へ検査依頼頭数 0頭

※円安の進行・輸送コストの高騰により導入の中止

#### (2) 牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止対策

牛伝染性リンパ腫の感染拡大防止を図るため講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

講習会の開催

開催日：令和5年11月10日（金）

演 題：「牛伝染性リンパ腫の効果的対策について」

講 師：国立大学法人 宮崎大学 産業動物防疫リサーチセンター  
教授 関口敏氏

#### (3) 牛ウイルス性下痢（BVD）清浄化対策

BVDの清浄化を図るためバルク乳等を用いた検査の実施及び持続感染牛（PI牛）の自主とう汰を実施する。また講習会を開催し、生産者を含め関係機関や団体等が一体となった感染予防対策の推進を行った。

BVD自主検査 40検体（バルク）

PI牛自主とう汰 1頭

講習会の開催

開催日：令和5年12月19日（火）

演 題：「BVDの実情とその効果的対策について」

講 師：国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構  
動物衛生研究部門 動物感染症研究領域ウイルスグループ  
主任研究員 安藤清彦氏

#### (4) 農場飼養衛生管理強化対策

農場飼養衛生管理向上のための指導体制を確立し、生産者自らが飼養衛生管理の向上に取り組むための支援を行うことにより家畜の損耗防止を図った。

・検討会の開催 1回

・農場指導 384戸

(5) 疾病発生流行防止支援対策

吸血昆虫媒介疾病のワクチンを接種することで牛の疾病発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止を図った。

## 2. 牛疾病検査円滑化推進対策事業

死亡牛の円滑な収集、輸送、並びに適正な処理をすることにより、BSE検査の円滑な実施と良好な家畜衛生及び環境の維持を図った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	6,126,000	6,025,000

(1) 死亡牛検査処理安定化対策

輸送費及び化製処理費に対する補助

[補助対象頭数及び助成金額]

	第1・四半期	第2・四半期	第3・四半期	第4・四半期	R5年度合計
96ヶ月齢以上(頭)	93	111	99	93	396
助成金額(円)	1,062,500	1,270,500	1,132,500	1,064,500	4,530,000

## 3. 獣医療提供体制整備推進総合対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため県と連携し、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金を給付した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
国庫補助金	11,884,000	11,835,316

給付対象学生 : 10名 (国 1/2 大分県 1/2)

## 4. 大分県獣医師確保対策事業

産業動物診療や家畜防疫体制を強化・維持するため、本県での就業を希望する獣医系学生に対する修学資金の給付やインターンシップ研修を実施し、必要とする獣医師の安定確保に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	19,641,392	19,695,942

給付対象学生 : 10名 (国 1/2 大分県 1/2)  
5名 (県) うち、1名は地域枠  
合計 15名  
インターンシップ研修を受けた学生 : 9名 (県)

## 5. 家畜防疫互助基金支援事業

口蹄疫や豚熱等の特定家畜伝染病が万一発生した場合、損害を互助補償し畜産経営への影響を緩和するため、生産者が行う積立を支援することにより畜産経営の安定的発展に努めた。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 委託費	3,680,000	3,242,544

### (1) 家畜防疫互助等推進事業

推進会議の開催、生産者・関係団体等に対する事業の普及、指導、連絡調整等

### (2) 家畜防疫互助事業

契約状況一覧

契約戸数 (戸)		家畜の種類	契約頭数 (頭)	積立金額 (円)
乳 用 牛 ・ 肉 用 牛	959	・ 乳用牛 (24ヶ月齢以上)	8,414	2,061,430
		・ 乳用牛 (24ヶ月齢未満)	3,836	345,240
		・ 肉専用繁殖雌 (24ヶ月齢以上)	16,623	3,906,405
		・ 肉専用繁殖雌 (24ヶ月齢未満) 及び肉専用肥育牛	23,929	2,991,125
		・ 交雑種	6,733	639,635
		・ 乳用種肥育牛	3,802	342,180
		計	63,337	10,286,015
豚	家 族 型 5	・ 繁殖用種豚 (雌)	548	205,500
		・ " (雄)	30	11,250
		・ 肥育豚	5,260	552,300
	小 計		5,838	769,050
	企 業 型 19	・ 繁殖用種豚 (雌)	11,905	4,642,950
		・ " (雄)	232	90,480
・ 肥育豚		123,280	13,560,800	
小 計		135,417	18,294,230	
計		141,255	19,063,280	
合 計				29,349,295

## 6. 自衛防疫強化総合対策事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	174,000	174,000

### (1) 推進事業の開催

### (2) 調査資料の作成

### (3) 広報活動

- ・ 家畜伝染病注意喚起ステッカー . . . . . 1,000部
- ・ 入場者記録手帳 . . . . . 200部

## 7. 死亡牛適正処理促進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
大分県 補助金	789,000	423,513
事業収入 (自己資金)	789,000	423,515

- (1) 施設運営費・・・コンテナ維持管理電気料 1/2 補助

## 8. 馬飼養衛生管理特別対策事業

馬の飼養衛生について馬飼養者及び関係団体を組織化し、計画的に事業を実施、浸透させることにより、馬飼養衛生管理体制の総合的な整備と馬産の振興に資するための指導を行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	517,000	390,166

- (1) 地域馬飼養衛生管理体制整備委員会の開催  
令和5年11月22日(水)
- (2) 馬飼養衛生管理技術地方講習会の開催  
令和5年11月22日(水)  
演題：「馬の病気と健康管理」  
講師：JRA 日本中央競馬会 馬事部獣医課 佐藤 岳 氏
- (3) 地域馬獣医療実態調査  
調査戸数 34 戸

## 9. 馬伝染性疾病防疫推進対策事業

地域における自主防疫活動の強化を図るため、競走馬以外の馬に対する馬インフルエンザワクチン接種の推進及び馬飼養衛生状況等の知識の普及啓発等の取り組みを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
中央畜産会 助成金	700,000	616,834

- (1) 馬ワクチン接種等地域推進対策検討会の開催  
令和5年11月22日(水)
- (2) 馬インフルエンザ接種頭数 40 頭

## 10. 野生獣衛生対策促進事業

地域において家畜衛生関係者を中心とした野生獣被害の情報発信体制の構築、推進を行うとともに、野生獣被害の主となるイノシシ及びシカについての衛生実態を把握し、畜産農家等の飼養衛生管理に対する意識向上を図り、野生獣衛生対策の推進に取り組んだ。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
家畜衛生対策推進協議会助成金	4,616,000	4,320,001

(1) 地域衛生技術連絡協議会の開催 (年3回)

第1回 令和5年5月29日(月)

第2回 令和5年12月1日(金)

・講習会 演題:「豚熱の現状と対策」

講師: 明治アニマルヘルス株式会社

テクニカルアドバイザー 津田 知幸 氏

第3回 令和5年3月8日(金)

(2) 野生獣の衛生実態調査

イノシシ 74頭 (検査項目 SFTS・E型肝炎・ADV・PRRS・TX・豚流行性下痢)

シカ 26頭 (検査項目 牛PI-3・牛RS・イバラキ病・IBR)

### 1.1. 牛せき柱適正管理等推進事業

化製業者と、牛せき柱以外分別供給契約を締結した上で、牛せき柱を適正に管理し、適正管理の確認や作業者に対する指導・監督等を行う責任者を設置するとともに、研修会を自ら実施した食肉事業者に対し交付される促進費の交付事務に関する手続きを行った。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
畜産副産物協会 委託費	250,000	257,126
事業対象食肉業者 1社		

### 1.2. 特定疾病予防接種推進事業

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	80,203,000	80,003,274

#### 国庫補助事業・協会単独事業実績

##### 牛疾病

(単位:頭)

協議会名	牛五混	イバラキ	流行熱	流行熱・イバラキ	異常産三混	異常産四混	ヘモフィルス
県中央	1,011	1,015	0	0	0	1,259	1,112
県南	4,978	4,935	0	2,628	0	4,249	4,980
県西	2,943	2,953	0	0	0	3,428	2,943
県北	1,814	1,820	0	0	0	3,554	1,860
合計	10,746	10,723	0	2,628	0	12,490	10,895

##### 鶏疾病

(単位:千羽)

協議会名	ND	NDIB
	生	生
県中央(大分市)	80	0
県南地域(大野地区)	0	12
県西地区	0	0
県北	0	0
合計	80	12

### 1 3. 種畜精液保管譲渡推進事業

大分県肉用牛振興の基本方針に基づき、豊後牛の生産基盤の確立及び豊後牛銘柄確立のため、地域の実情に応じ大分県肉用牛改良方針に沿った精液の保管譲渡を実施した。

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
事業収入	14,170,000	13,922,245
事務手数料収入	1,422,000	1,466,850

種雄牛別譲渡数 (単位：本)

令和5年度		令和4年度		令和3年度	
種 雄 牛	本数	種 雄 牛	本数	種 雄 牛	本数
加代白清	4,364	加代白清	4,564	桜花久	2,147
葵白清	3,100	葵白清	3,499	葵白清	2,119
安白清	1,885	桜花久	1,240	松吹雪	1,669
桜花久	664	安白清	870	加代白清	1,617
安森照	277	安森照	725	安森照	1,189
他	1,260	他	2,142	他	2,929
合 計	11,550	合 計	13,040	合 計	11,670

### 1 4. 予防注射事故対策事業

手当金及び見舞金交付  
報告なし

### 1 5. 自衛防疫普及啓発事業

自衛防疫を推進するため、家畜の疾病及び飼養衛生管理に関する研修会の開催や啓発資料の作成・配布を実施した。

- ・市場日程表への啓発資料掲載

### 1 6. 高能力雌牛保留促進事業 (ゲノム育種価検査)

繁殖農家等がゲノム育種価評価の手法を活用し、能力が一定以上 (県内雌子牛の概ね1/4以上) ある高能力雌牛を選抜保留するため、雌子牛のゲノム育種価検査を実施した。

9月末検査頭数 139頭

区 分	予算額 (円)	決算額 (円)
検査事務手数料収入	600,000	688,000

検査頭数	当初計画	実績
	200頭	344頭